

10 / 14

市内在住の久保リビア明日香さんが、 国体なぎなた少年女子の部で優勝



なぎなた競技には「試合」と「演技」の2つの競技があります。「試合」は防具を付け、定められた部位を打ち突き、勝負を競う競技。「演技」は防具を付けず、指定された形を2人1組で行い、その技を競う競技。

市内在住の久保リビア明日香さん（水戸二高3年）が、いきいき茨城ゆめ国体なぎなた少年女子の「演技」の部で見事金メダルを獲得しました。リビアさんは、同校の橋本瑠李さんと出場。「しかけ」のリビアさんと「応じ」の橋本さんの姿勢や発声が調和して、1回戦から決勝まで全て5対0の完勝でした。

今年、強化選手に選ばれてから、月に1回のペースで山口、大分、大阪、愛媛などの遠征合宿に参加。直前の合宿では「きれいなだけではだめだ」と指摘されて、どうしたらいいのか迷いながら練習する日々。

「1回戦は、記憶がないほど緊張していました



二人一組になって行う、なぎなたの稽古の様子。（写真右がリビアさん）

た。無事初戦を終えて、2回戦から落ち着いて試合に臨めた」と話すリビアさん。

なぎなたを知ったのは、中学生のときに見たYouTube。競技をする女性がかっこよく見えました。進学すると、なぎなた部があったので迷わず入部。

「地元開催の国体で結果を残せて、ほっとしています。これまでお世話になった人たちの顔が浮かび、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。部活の仲間たちも喜んでくれて嬉しかったです」と話すリビアさん。

自分の限界だと思っていたものを超える経験は、自信につながります。将来の夢は、国際経営学を学び、海外で起業すること。大学進学で石岡を離れる予定ですが「小中学校を石岡で過ごし、いろんな人と出会えたことは財産。これからも人との出会いを大切に世界を広げたい」新たな夢の一步が始まります。

9 / 26

「第7回茨城県いちごグランプリ」県知事賞 こだわりのいちごを栽培する藤枝さん夫妻に

第7回茨城県いちごグランプリ（茨城県いちご経営協会主催）で、藤枝敏広さん・一恵さん夫妻（東大橋）が、最高賞である県知事賞を受賞しました。

藤枝さんは就農6年目で、県知事賞は2回目の受賞です。直売が基本で、夫婦二人で目の届く範囲ということで20アールに茨城県の独自品種「いばらキッス」を栽培しています。

「対面で販売することを大切にし、低農薬化を進めています。妊婦さんや赤ちゃんも安心して食べられるような、いちご栽培に手間は惜しまない」と話す敏広さん。12月、精魂込めて育てたいちごのシーズン到来です。



11 / 1

茨城県内最高齢者、110歳の関しなさん 長生きの秘訣は…

関しなさんは、明治42年10月1日に行方市に生まれ、小学校教員として働き、結婚を機に石岡市へ。80歳近くまで民生委員を務めるなど、人のために働いてこられました。若い頃から短歌を創作。現在も歌集に短歌を投稿しています。生涯現役を体現されているしなさんに、今泉文彦市長が表彰状・記念品を贈呈。しなさんの長生きの秘訣は、明るく暮らすこと、よく食べること、人の悪口を言わないこと。「皆様のおかげでこんなに祝いしてもらえて嬉しい」とにっこり。

百歳高齢者表彰も行われ、18人に表彰状が贈られました。



10 / 26

森と水の大切さを学ぶ、 コカ・コーラ森に学ぼうプロジェクト開催

コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクトin茨城いしおかが、茨城県フラワーパークとつくばオートキャンプ場を会場に開催されました。

平成29年10月、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社とつくば森林組合・石岡市が、豊かな水を育む森林と農地を保全・再生するため「水源保護の協力に関する包括協定」を締結。その一環として開催し、市内小学校3〜6年生とその保護者32人が参加しました。午前は間伐や枝払いに汗を流し、午後からの木工製作では茨城県産の杉を使い棚を製作。プロジェクトは来年以降も継続していく予定です。



10 / 24

心も体も温まる人気施設 「やさと温泉ゆりの郷」が来館者 350 万人に

毎年20万人以上が訪れる「やさと温泉ゆりの郷」が平成12年のオープン以来、総来館者数350万人を迎え、記念セレモニーが行われました。県内はもとより県外からも多くの人が訪れる人気の施設。節目の入館者は、友人との筑波山登山の後に初めて来館したという、那珂市在住の豊島紀子さん(写真中央)。「とても気持ちの良い温泉ですね。食事を楽しみたいです」とにこやかに語りました。

豊島さんには今泉文彦市長から花束が贈呈されたほか、浅野建二JJAやさ代表理事組合長から新米などの記念品が贈られました。

